

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	カザフスタン
オンライン留学先大学	カザフ国立大学
プログラム開始日	2021年9月13日
プログラム終了日	2021年12月6日
今回の留学にかかった費用	自宅の通常の通信設備代のみ
留学の目的とその達成度合	カザフ語とロシア語を徹底的に聞いて学んで、現地に赴いたときに有意義な生活ができるようになるため。☒ 全授業がロシア語で説明されたので自分のロシア語リスニング能力のなさが露呈した。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	先生の話すロシア語のスピードに慣れ、応答も滞りなくできることが増えた。☒ ロシア語をリアルタイムでタイピングする機会が増えた。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	ロシア語☒ マスメディアのロシア語☒ 国際コミュニケーション☒ カザフ語☒ カザフスタンの歴史
授業内容	スカイプを通じた授業☒ 主にPDFで配布された教科書をみながら学んでいく。☒ ロシア語の授業内容は本学1年次後半の文法事項を学ぶ。（結構自分も忘れていた。）☒ マスメディアのロシア語はニュースのリスニングなど難しい単語が多い。☒ カザフ語は最初の発音から学ぶ。☒ カザフスタンの歴史の授業は地理、歴史などの文章を読んで先生からの質問に答えていくという形。☒ 国際コミュニケーションの授業はカザフ人の習慣など様々なトピックについて学び、それに対して自国の風習などを発表する。
授業の開講時間および現地時間との時差	11:00～15:50（時差3h）
外大の授業との両立について	秋学期中に渡航できる予定だったので履修していない
授業内容やプログラム全体に対する感想	授業内容はどの科目もしっかりとした教育を受けることができた。☒ ロシア語とマスメディアのロシア語の宿題は毎回ニュースを用意して発表することやエッセーやプレゼンを作成してくるなど特に大変だった。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	0
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	5
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	0
今後の予定について教えてください。	現地渡航し、同じ大学の派遣（交換）留学プログラムに参加
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	0

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	カザフスタン
オンライン留学先大学	カザフ国立大学
プログラム開始日	2021年9月13日
プログラム終了日	2021年12月6日
今回の留学にかかった費用	0
留学の目的とその達成度合	目的…ロシア語およびカザフ語運用能力の向上、カザフスタンの歴史、文化、政治、社会等に関する学習☑ 達成度合い…達成できた
留学を通して得たもの（スキル、経験）	オンライン授業の孤独感、渡航可否が決定せず先が見えない不安感を乗り越えたこと。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	カザフスタンの歴史と文化☑ カザフ語☑ マスメディア言語☑ ロシア語☑ 異文化間コミュニケーション
授業内容	PDFの教科書を使用。授業では宿題の答え合わせをしてから、講読、リスニング、作文、会話の実践などを行った。
授業の開講時間および現地時間との時差	月・火・木 11:00～15:00☑ 水・金 11:00～16:00☑ (時差3時間)
外大の授業との両立について	オンライン授業の課題が多かったので両立していなかった。
授業内容やプログラム全体に対する感想	授業内容は先輩から聞いていたほど酷くはなく、寧ろ勉強になることが多かった。ただ、一時期先生とのコミュニケーションに齟齬が生じたことがストレスになり、オンライン受講の難しい側面を実感した。また、受講していた期間は渡航が決定していなかったこともあり、気持ちの面で不安定になることがあった。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	0
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)	6
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	0
今後の予定について教えてください。	現地渡航し、同じ大学の派遣（交換）留学プログラムに参加
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	0

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	カザフスタン
オンライン留学先大学	カザフ国立大学
プログラム開始日	2022年1月24日
プログラム終了日	2022年3月18日
今回の留学にかかった費用	0円(通信費不明)
留学の目的とその達成度合	年始のデモ等で治安が安定するまで、オンライン形式で学期が始まった。☒ しかし、1セメスターで留学予定だったが、先方のビザの手続きが遅かった。2月途中から現地学生は対面授業になった。ビザを取得し、渡航できるようになるまでの間、オンラインで繋いでもらった。☒ 渡航日までの間ほぼ出席し、テキストを辞書なしでも読めるようになった。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	ロシア語で自分の状況を以前よりも説明できるようになった。☒ もっと語彙を増やそうという目標ができた。
留学先大学への支払い方法	その他
履修した科目	文法、マスメディアのロシア語、国際コミュニケーション、カザフ語、カザフスタンの歴史と文化
授業内容	スカイプを使用した。☒ 教科書の音読、設問の回答、ディスカッション、個人プレゼンテーション、ロシア語に訳したニュースの発表、300文字程度のエッセイ
授業の開講時間および現地時間との時差	4コマの時 11:00~14:50☒ 5コマの時 11:00~15:50☒ クラスによっては土曜日も授業がある。
外大の授業との両立について	冬学期と重なっていたので、特に大変なことはなかった。
授業内容やプログラム全体に対する感想	現地学生が対面で受講するハイブリッド形式になってからは、対面の教室のWi-Fiがとても遅く、内容がよく聞こえない授業があった。先生も半ば諦めていた。☒ 5コマの日は、同じ先生、同じ教科書が続いたので、オンラインだと疲れた。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	0
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)	7
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	先生によって、オンラインデバイスを使いこなせるかどうか、分けられると感じた。☒ それによって、受講者の満足度も変わると思った。
今後の予定について教えてください。	現地渡航し、同じ大学の派遣（交換）留学プログラムに参加
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	0

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	カザフスタン
オンライン留学先大学	カザフ国立大学
プログラム開始日	2022年1月31日
プログラム終了日	2022年3月18日
今回の留学にかかった費用	0円
留学の目的とその達成度合	渡航できるようになるまでの代替措置としてオンラインで授業を受けていたため、正直なところオンライン留学に明確な目的はありませんでした。ですが、毎日授業に参加し、新しく授業で聞いた単語の復習もそれなりに行い、全体的にロシア語の語彙が増えたと思います。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	読む・聞く・話す・書くという4つのスキルがありますが、特に話す力がオンライン留学を通してついたのではないかと思います。先生に何か質問された時や生徒同士で会話をした時（そのような機会も少しではありますが与えられていました）、もちろん辞書を見ている暇なんてないので、知っている単語を使って言いたいことを表現することが少しはできるようになったと感じます。☒ また、週に1コマしかありませんが、ネイティブの先生によるカザフ語の授業は楽しかったです。カザフ語で質問されてカザフ語で答えるというのは初めての経験でした。ロシア語ほどしっかりした勉強は全然してこなかったのですが、少しでも理解できて話せる自分にびっくりしました。☒ オンライン留学だからこそ得られたものは、機器の不具合があるからこそそのコミュニケーション（自分から発言して対処してもらわないといけない）ができたことや、接続が悪くてブツブツ切れた外国語の音声を理解する努力ができたことだと思います。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	ロシア語、マスメディアのロシア語、異文化コミュニケーション、カザフ語、カザフスタンの歴史と文化
授業内容	オンライン授業はSkypeを通して行っていました。☒ 上で書いたように5つの種類の授業があり、先生も4人いるので授業内容を全て書くのは難しいですが、基本的にはどの授業でも教科書を進めるのがメインでした。☒ マスメディアのロシア語の授業では、授業の初めに各自が自分の読んだニュースを要約して発表する時間がありました。自分では意識を向けていなかったことに気づいたり、他国目線のニュースも知れたりするのが面白かったです。先生からその記事に関する質問も毎回されていました。
授業の開講時間および現地時間との時差	月火木 11:00-15:00（時差3時間）☒ 水金 11:00-16:00（時差3時間）
外大の授業との両立について	当初「渡航できるまで待つ、オンライン授業は受けない」というつもりでいたので、とりあえず外大の授業がある期間はオンライン授業はまだ受け始めていませんでした。翌年1月末に外大の秋学期が終了してから余裕が生まれ、やっとオンライン授業に参加しました。☒ つまり両立はしていなかったのですが、実際、時間帯的に、日本の大学との両立はかなり難しかったらと思います。
授業内容やプログラム全体に対する感想	参加者全員がオンラインで受講しているわけではなく、現地の教室にいる学生もいたということがオンラインでの授業の実施を難しくしていたように感じます（1月末から2月中旬まではコロナの流行やカザフスタン各地で起きた大規模な暴動を受けて、現地にいる学生も含め、全員がオンライン授業を受けていましたが、その後1ヶ月ほどはまだアルマトイに渡航できていない学生のみオンラインでした）。☒ ☒ 例えば、家よりも大学のwi-fiが弱いと先生側の接続が切れやすい、教室にいる生徒の声が聞こえにくいなどという問題がありました。一番大変だった（悲しかった）のは、ネット接続があまりにも良くないため、諦めて放って置かれてしまうことが多々あったことです。☒ ただ、どの先生もできる限りオンラインで受けている学生のことも考えてくれていたと思います。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	マスメディアのロシア語の授業では「各地域の産業発展」「高齢化」「移民政策」「平均寿命」などについて各国の学生が自分の国の状況に関して何度かプレゼンテーションをしました。☒ ロシア語の授業では「Дорога в Россию（ロシアへの道）」という教科書を使っているのですが、これはまさに「ロシアに留学している各国からの留学生」を対象にしている教科書で（私たちはカザフスタンですが）、どの課でも「¥x{301c}に関してあなたの国（地元）はどうですか？」といった設問があります。この授業では各国/地域の観光地や、おとぎ話・伝説や、ロック音楽を紹介しました。☒ カザフスタンの歴史・文化の授業では、カザフスタンの国のシンボルについて勉強したことに関連して、日本の学生がそれぞれ日本の国章、国歌、国旗について話をしました。☒ また、どの授業でも、時々「これはあなたの母語ではなんて言うの？」と聞かれることがありました。
プログラムに対する満足度（10段階：低1～高10）	6

その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）		0
今後の予定について教えてください。	現地渡航し、同じ大学の派遣（交換）留学プログラムに参加	
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。		0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど		0